

# 口腔疾患の診断・治療計画および予防 (DTP : Diagnosis Treatment Planning and Prevention)

コース責任者：(主) 岸光男教授、千葉俊美教授、成田欣弥講師、佐藤俊郎講師  
 講座(分野) 担当者： 歯科保存学講座(う蝕治療学分野) 野田守教授、工藤義之准教授  
 口腔顎顔面再建学講座(歯科放射線学分野) 佐藤仁助教  
 歯科保存学講座(歯周療法学分野) 八重柏隆教授  
 法科学講座(災害口腔医学分野) 熊谷章子准教授  
 口腔顎顔面再建学講座(歯科麻酔学分野) 佐藤健一教授  
 口腔保健育成学講座(歯科矯正学分野) 間山寿代准教授、佐藤和朗教授  
 (小児歯科学分野) 森川和政教授  
 口腔医学講座(予防歯科学分野) 岸光男教授  
 生理学講座(病態生理学分野) 成田欣弥講師

第3学年 後期 後期 講義 45.0時間 実習 24.0時間

## 学習方針(講義概要)

2年次および3年次前期の基礎歯科医学の系統講義ならびに実習で学んだ知識を踏まえ、齶蝕や歯周疾患などの口腔領域に発症する頻度の高い歯科疾患の病因とその病態について学び、診断・治療計画ならびにその予防法を理解することを目的とする。

## 教育成果(アウトカム)

口腔疾患の診断・治療計画・予防(Diagnosis Treatment Planning and Prevention)のコースにおいては、講義・実習・演習をとおして、口腔領域に発症する頻度の高い歯科疾患の診断に必要な知識と基本的検査の手技を習得することにより、基本的歯科診療における、診断・治療計画ならびにその予防法を立案することができる。  
 (ディプロマ・ポリシー: 4)

## 事前学修内容及び事前学修時間(30分)

シラバスに記載されている次の授業内容を確認し、教科書等を用いて事前学修(予習・復習)を行うこと。ユニットの到達目標欄に事前学習課題が記されている場合はそれに従うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低30分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。

## 講義・実習日程

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
10月3日(月) 1限	コース ディレクター  岸光男教授 (予防歯科学)	DTP コースガイダンス DTP で修得するべきことを理解する。  ローテーション実習の説明 ローテーション実習の内容、目的を理解する。	1. DTP コースで修得する項目を列挙できる。 2. ローテーション実習の内容を列挙できる。 3. ローテーション実習の目的を説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
10月3日(月) 2限	岸光男教授 (予防歯科学)	予防歯科学総説：病因と 予防へのアプローチ  歯科疾患予防の概念を理解する。	1. Leavell と Clark の 3 相 5 段を説明できる。 2. 齲蝕予防の 3 相 5 段を説明できる。 3. 歯周疾患予防の 3 相 5 段を説明できる。 4. 根拠ある予防法を列挙できる。 [B-3-1)-①、B-3-2)-①] 事前学習：WebClass に掲載された資料をダウンロードして読んでおくこと。
10月3日(月) 3限	工藤義之准教授 (う蝕治療学)	齲蝕の症状と臨床診断  齲蝕の症状と臨床診断について説明できるようになる。	1. 齲蝕の定義を説明できる。 2. 齲蝕の病因を説明できる。 3. 齲蝕の好発部位を列挙できる。 4. 齲蝕を分類と特徴を説明できる。 5. 齲蝕の組織像を説明できる。 6. 齲蝕の検査法を説明できる。 7. 齲蝕の鑑別を説明できる。 8. 軟化象牙質を説明できる。 9. 感染象牙質を説明できる。 10. 齲蝕の硬さ、色を説明できる。 11. 齲蝕第 1 層、第 2 層を説明できる。 12. 透照診を説明できる。 13. インピーダンス測定を説明できる。 14. レーザー蛍光法を説明できる。 15. OCT 法を説明できる。 [E-3-2)-①、E-3-2)-①] 事前学習：「保存修復学 21」第 1 章 4,5,6 を読んで到達目標についてまとめておくこと。
10月4日(火) 1限	鈴木啓太助教 (歯周療法学)	歯周疾患の臨床診断（エ ックス線所見）  歯周疾患の臨床診断（エ ックス線所見）について 理解する。	1. 歯周疾患のエックス線所見を説明できる。 2. 咬合性外傷・根分岐部病変のエックス線 所見を説明できる。 3. 歯周疾患の基本的な臨床診断ができる。 [E-3-2)-③、E-3-3)-(3)-②] 事前学習：「歯科放射線学」 232～237p を読 み、歯周病エックス線所見についてノート にまとめ、講義に臨むこと。
10月4日(火) 2限	浅野明子講師 (う蝕治療学)	歯内治療における診査・ 診断  歯内治療における診査・ 診断法について理解す る。	1. 歯髄疾患、根尖性歯周炎の病態を説明で きる。 2. 歯内治療における診査、検査について説 明できる。 [E-3-2)-②、E-3-3)-(2)-①] 事前学習：歯内治療学第 5 版第 4 章を読ん で疑問点を抽出しておく。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
10月4日(火) 3、4限	野田 守教授 工藤義之准教授 浅野明子講師 志賀華絵講師 菅徹也助教 清水峻介助教 中村友宣助教 (う蝕治療学)  佐藤俊郎講師 (予防歯科学)	<b>実習①</b> <b>切削器具の使い方</b> <b>ルーペの使用方法</b> <b>窩洞形成実習</b>  シミュレーター実習で、ルーペを装着し、正しい診療姿勢で人工歯に高速切削器具で形成できるようになる。  (矢巾実習室)	1. 窩洞形成器具の作動様式と切削法を理解した上で、実際に窩洞形成を行うことができる。 2. 適切な診療姿勢をとることができる。 3. ルーペの調整を行うことができる。 4. ルーペを装着して切削できる。 5. 適切な診療姿勢をとることができる。 6. ルーペを装着して人工歯に適切な形態と深さの窩洞を切削できる。  [F-1-2)-①～④] 事前学習：WebClass にアップした第1回実習書「切削器具の使い方,ルーペの使用方法」ファイルを学習、理解して実習に臨むこと。
10月5日(水) 1限	中里茉那美助教 (歯周療法学)	<b>歯周疾患の分類</b>  歯周疾患の分類について理解する。	1. 歯周疾患の分類について説明できる。 2. 歯肉炎と歯周炎の違いを説明できる。 3. 慢性歯周炎と侵襲性歯周炎の違いを説明できる。 4. 特殊な歯周炎について説明できる。 [E-3-2)-③、E-3-3)-(3)-①] 事前学習：「臨床歯周病学 P69～75」を読み、歯周病の分類についてノートにまとめ、講義に臨むこと。
10月5日(水) 2限	佐藤俊郎講師 (予防歯科学)	<b>齲蝕の病因、脱灰・再石灰化へのプラークの関与</b>  齲蝕の病因、脱灰・再石灰化へのプラークの関与を学ぶことにより齲蝕の発生要因を理解する。	1. 初期齲蝕病巣と臨床的齲窩の違いを列挙できる。 2. 初期齲蝕病巣発生の機序を概説できる。 3. Keyes の輪を説明できる。 4. 齲蝕活動性試験を説明できる。 [B-3-2)-①] 事前学習：「口腔保健・予防歯科学」P33～43、P132～136を読み、齲蝕の病因、脱灰・再石灰化へのプラークの関与についてまとめておくこと。
10月5日(水) 3限	佐藤俊郎講師 (予防歯科学)	<b>齲蝕と歯周疾患の予防： プラークコントロール</b>  プラークコントロールについて学習することにより、齲蝕、歯周病における予防法について理解する。	1. プラークコントロールの意義について説明できる。 2. プラークコントロールの種類を列挙できる。 3. 口腔の不潔物に関する疫学指標について説明できる。 4. ブラッシング方法の種類とその特徴を説明できる。 5. 補助清掃用具の種類とその使用方法を説明できる。 [B-3-2)-③] 事前学習：「口腔保健・予防歯科学」P15～32、P152～161を読んでくること。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
10月5日(水) 4限	佐藤俊郎講師 (予防歯科学)	<b>齲蝕と歯周疾患の予防： 歯磨剤</b>  歯磨剤を学習することにより、その効能を理解する。	1. 歯磨剤の種類を列挙できる。 2. 歯磨剤の基本成分を説明できる。 3. 歯磨剤の薬効成分を説明できる。 [B-3-2)-①] 事前学習：自分が使用している歯磨剤の種類と成分について、「口腔保健・予防歯科学」P161～163を参考にして学習してくること。
10月6日(木) 1限	佐藤仁助教 (歯科放射線学)	<b>パノラマエックス線撮影法</b>  パノラマエックス線撮影の原理と特徴、および画像で観察される正常な構造について理解する。	1. パノラマエックス線撮影法の原理(断層撮影法と細隙撮影法)と特徴について説明できる。 2. パノラマエックス線写真で観察される正常な構造について解剖学的に説明できる。 3. 歯科医療における最も基本的な画像診断法であるパノラマエックス線写真の読影をすることで全顎的な治療計画に必要な画像診断ができるようになる。 [E-1-2)-⑦] 事前学習：Webclass にアップしたパノラマエックス線写真についての資料を学習、理解した上で講義・実習に望むこと。
10月6日(木) 2限	大石泰子 (予防歯科学)	<b>齲蝕の予防：フッ化物の応用</b>  齲蝕予防のためのフッ化物応用法について理解する。	1. 自然界のフッ化物について説明できる。 2. フッ化物の人体に対する為害作用を説明できる。 3. 飲料水中のフッ化物の至適濃度について説明できる。 4. フッ化物の齲蝕予防機序について説明できる。 5. フッ化物の全身応用法、局所応用法について説明できる。 [B-3-2)-②] 授業中に学生同士で教え合う時間を設けることで全体及び個々の理解を深める。 事前学習：「口腔保健・予防歯科学」P44～51、P137～140)を読み、到達目標1～5についてまとめておくこと(必要時間40分)。 事後学習：WebClass で講義内容を復習し、知識の補充を行う。
10月6日(木) 3、4限	佐藤俊郎講師 (予防歯科学)  大石泰子助教 (予防歯科学)	<b>実習④ 口腔清掃度評価 ブラッシング指導</b>  口腔保健の必要性を学ぶことによって、口腔清掃状態を評価し、個人の口腔内状態に応じた口腔衛生指導を理解する。	1. 口腔清掃状態の指標を説明できる。 2. 相互実習でプラークの付着状況などの口腔清掃状態を評価できる。 3. 口腔保健の必要性を説明できる。 4. 個人に対応した口腔衛生指導を列挙できる。 5. 相互実習でブラッシング方法を説明し、実践させることができる。 [B-3-2)-①、B-3-2)-③] 事前学習：10/6「齲蝕と歯周疾患の予防：プラークコントロール」講義資料を用いて口腔清掃度評価、ブラッシング指導法について復習しておくこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
10月7日(金) 2限	小関健由 非常勤講師 (東北大学教 授)	<b>特別講義 歯周疾患特論</b>	1. 歯周疾患発症のメカニズムを説明できる。 [B-3-2)-①、B-3-2)-④]
10月11日 (火) 1限	岸光男教授 (予防歯科学)	<b>口臭の診断・予防</b>  口臭の診断・予防を理解する。	1. 口臭の分類を説明できる。 2. 口臭の原因を説明できる 3. 口臭の予防と処置を説明できる。 [B-3-2)-①⑤] 事前学習：「口腔保健・予防歯科学」第1編 第6章」、第2編第3章を読んでおくこと。
10月11日 (火) 2限	大石泰子助教 (予防歯科学)	<b>その他の歯科疾患の予防</b>  齲蝕と歯周疾患以外の口腔疾患を学習することで、様々な口腔内の疾患を理解することができる。	1. 不正咬合・歯列不正の予防について概説できる。 2. 口腔粘膜疾患の予防について概説できる。 3. 形成不全・酸蝕症・歯のフッ素症を説明できる。 [B-3-2)-①] 事前学習：「口腔保健・予防歯科学」p69～74、 P51、p256を学習してくること。
10月11日 (火) 3限	森川和政教授 (小児歯科学)	<b>小児齲蝕の予防・進行抑制</b>  齲蝕の予防法と進行抑制法を臨床に則して理解できるようにする。	1. Stephan カーブの持つ意味を説明できる。 2. 歯口清掃指導の原則を列挙できる。 3. 哺乳と哺乳ビン齲蝕を関係づけて説明できる。 4. 薬物局所応用とその基本理論を説明できる。 5. フッ化物の局所応用法について、具体的に述べることができる。 6. 歯磨剤・洗口剤について説明できる。 7. フッ素の齲蝕予防機序を述べることができる。 8. フッ素の毒性について説明できる。 9. シーラントの術式と予後について説明できる。 [E-4-2)-①] 事前学習：到達目標について教科書を読んでまとめておく。 アクティブラーニング：講義中に教員とのディスカッションの機会を設ける。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
10月11日 (火)  4限	森川和政教授 (小児歯科学)	<b>小児齲蝕の臨床症状とエックス線所見</b>  小児齲蝕の臨床症状の特徴とエックス線写真像を理解できるようになる。	1. 小児齲蝕の特徴を列挙できる。 2. 小児齲蝕の臨床症状を列挙できる。 3. 小児のエックス線検査の方法と読影項目を説明できる。 4. 乳歯・幼若永久歯のエックス線写真の正常像を説明できる。 5. 乳歯・幼若永久歯の齲蝕のエックス線写真像を説明できる。 [E-4-2)-②] 事前学習：到達目標について教科書を読んでまとめておく。 アクティブラーニング：講義中に教員とのディスカッションの機会を設ける。
10月12日 (水)  1限	千葉俊美教授 (関連医学)	<b>歯科疾患治療計画立案の際に必要な内科疾患のリスク評価</b>  歯科疾患治療計画立案の際に必要な内科疾患のリスク評価について理解する。	1. 医療面接の基本を説明できる。 2. 既往歴、家族歴より全身疾患のリスクを説明できる。 3. 身体所見および臨床徴候より高リスクの内科疾患を説明できる。 [E-1-4)-(1)-①~④] 事前学習：内科学に関する国家試験問題、内科学教科書および過去の講義資料を確認し講義に臨むこと。 事後学習：講義に関する国家試験問題を解き内容をまとめること。
10月12日 (水)  2限	千葉俊美教授 (関連医学)	<b>歯科疾患治療の管理に留意すべき疾患</b>  歯科疾患治療の際に留意すべき疾患について理解する。	1. 全身管理に留意すべき疾患を説明できる。 2. 循環器疾患（高血圧疾患、脳梗塞、虚血性心疾患）を説明できる。 3. 悪性新生物（大腸癌、肺癌、胃癌）を説明できる。 4. 呼吸器疾患（気管支炎、慢性閉塞性肺疾患、肺炎）を説明できる。 5. うつ病、認知症などの疾患を説明できる。 [E-1-4)-(1)-⑤⑥] 事前学習：内科学に関する国家試験問題、内科学教科書および過去の講義資料を確認し講義に臨むこと。 4. 事後学習：講義に関する国家試験問題を解き内容をまとめること。
10月12日 (水)  3限	相澤文恵教授 (心理学・行動科学分野)	<b>行動科学特論</b>  行動科学理論を用いた行動変容支援法を理解する。	【双方向授業】 1. 医療における行動科学の位置づけを説明できる。 2. 事例の患者に行動科学理論を用いたヘルスコミュニケーションを応用できる。 [A-4-1)、A-4-2)、B-3-2)] 事前学習：1年次科目「医療面接の基礎」5回目（ヘルスコミュニケーション）の配布資料を WebClass にアップするので、行動科学とヘルスコミュニケーションについて復習しておく。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
10月13日 (木)  1限	佐藤和朗教授 (歯科矯正学)	<b>矯正歯科臨床における診断学</b>  矯正臨床における診断の特徴と目的について説明できるようになる。	1. 診断に対する基本的理念を説明できる。 2. 矯正臨床における診断の特徴と目的を説明できる。 3. 矯正歯科臨床に必要な医療面接と診療に対する具体的な方法を説明できる。 4. 医療面接と診断から得られた情報を診断に反映できる。 [E-1-1)-①～⑥、E-4-1)-①、③] 事前学習：到達目標について、WebClassにアップしたファイルと医歯薬出版「歯科矯正学 6 版」を用いて自習して臨むこと。
10月13日 (木)  2限	飯塚康之助教 (歯科矯正学)	<b>セファロ分析</b>  矯正診断用のセファロの分析法について説明できるようになる。	1. セファロ分析の意義を説明できる。 2. セファロ写真の透写について説明できる。 3. セファロ分析に必要な計測点を説明できる。 [E-4-1)-③] 事前学習：到達目標について、WebClassにアップしたファイルと医歯薬出版「歯科矯正学 6 版」を用いて自習して臨むこと。
10月13日 (木)  3、4限	佐藤俊郎講師 (予防歯科学)  大石泰子助教 (予防歯科学)	<b>実習⑤ 齶蝕リスクの評価法 フッ化物応用</b>  齶蝕活動性試験を行うことよって、齶蝕リスクの評価方法を理解する。  齶蝕予防としての、フッ化物の応用法を理解する。	1. 齶蝕リスクの評価法を列挙できる。 2. 相互実習で齶蝕活動性試験を行い、相手に結果を説明できる。 3. 臨床におけるフッ化物製剤の安全な取り扱いを説明できる。 [B-3-2)-①、B-3-2)-②] 事前学習：10/6「齶蝕の病因、脱灰・再石灰化へのプラークの関与」講義資料と10/7「齶蝕の予防：フッ化物の応用」を用いて口腔清掃度評価、ブラッシング指導法について復習しておくこと。
10月14日 (金)  1、2限	佐藤和朗教授 間山寿代准教授 桑島幸紀講師 ※飯塚康之助教 松本識野助教 (歯科矯正学)	<b>実習⑦ エックス線解剖学とセファロ分析</b>  エックス線写真の読影に必要な解剖が説明できるようになる。  (矢巾実習室)	1. エックス線写真の読影に必要な解剖について説明できる。 2. 頭蓋骨について説明できる。 3. 顔面骨について説明できる。 4. 脳頭蓋底について説明できる。 [E-2-1)-②] 事前学習：到達目標の内容について、解剖学の教科書やアトラスに目を通し実習に臨むこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
10月14日 (金)  3、4限	佐藤 仁助教 (歯科放射線学)	<b>実習⑥</b> パノラマエックス線写真 読影実習  パノラマエックス線写 真で観察できる正常構 造について理解する。 (学生前半実習、後半の 学生は自主学習)	パノラマエックス線写真で観察される正 常な構造について解剖学的に説明できる。 歯科医療における最も基本的な画像診断法 であるパノラマエックス線写真の読影をす ることで全顎的な治療計画に必要な画像診 断ができるようになる。 [E-1-2)-⑦] 事前学習：Webclass にアップしたパノラマ エックス線写真についての資料を学習、理 解した上で講義・実習に望むこと。
10月17日 (月)  2限	黒瀬雅之教授 (病態生理学)	<b>痛覚の神経生理学</b>  痛覚の神経生理学的メカ ニズムを理解する。	1. 痛覚の受容器と痛覚情報を伝える神経 の経路を説明できる。 2. 痛覚の特徴を説明できる。 3. 急性疼痛と慢性疼痛の発生メカニズム を説明できる。 4. 痛みを抑制するしくみ（下行性痛覚抑制 系）を説明できる。 [C-3-4)-(6)-②、C-3-4)-(6)-④、 E-2-2)-⑨、E-2-1)-⑤] 事前学習：痛覚について、2年次の生理学 で使用したレジメ、講義ノートを復習し て講義に臨むこと。
10月17日 (月)  3、4限	佐藤 仁助教 (歯科放射線学)	<b>実習⑥</b> パノラマエックス線写真 読影実習  パノラマエックス線写 真で観察できる正常構 造について理解する。 (学生後半実習、前半の 学生は自主学習)	パノラマエックス線写真で観察される正 常な構造について解剖学的に説明できる。 歯科医療における最も基本的な画像診断法 であるパノラマエックス線写真の読影をす ることで全顎的な治療計画に必要な画像診 断ができるようになる。 [E-1-2)-⑦] 事前学習：Webclass にアップしたパノラマ エックス線写真についての資料を学習、理 解した上で講義・実習に望むこと。
10月18日 (火)  1限	四戸 豊講師 (歯科麻酔学)	<b>神経障害性疼痛および心 因性疼痛</b>  神経障害性疼痛と心因性 疼痛について理解する。	1. 痛みの分類を説明できる。 2. 神経障害性疼痛について説明できる。 3. 心因性疼痛について説明できる。 [C-4-6)、E-2-4)-(8)-①②、E-4-5)-③] 事前学習：WebCl ass に提示した資料を利用し て痛みの種類・特徴について予習しておく。
10月18日 (火)  2限	大橋祐生講師 (口腔外科学)	<b>口腔外科診断学 主要症 候</b>  口腔外科疾患における主 要な症候を理解し、診断 に必要な知識を修得す る。  (WebCl ass に授業の概要 をアップロードする。)	1. 主要な症候を列挙できる。 2. 主要な症候の概略を説明できる。 3. 主要な症候の原因、病理を説明できる。 4. 主要な症候を有する疾患を列挙できる。 [E-1-1)] 事前学習：主要な症候の疑問点について「口 腔内科学第1版 p.7-54」を参照してレポ ート用紙半分程度に疑問点を箇条書きにし ておくこと。疑問点は、随時、質問すること。 質問を十分配慮しフィードバックしながら 授業を展開する。



月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
10月18日 (火)  3限	宮本郁也教授 (口腔外科学)	<b>口腔外科診断学 検査法</b>  口腔外科の診察において必要な検査法を修得する。  (WebClass に授業の概要をアップロードする。)	1. 検査法の種類を列挙できる。 2. 基本的な検査法を説明できる。 3. 基本的な検査法の臨床的意義を説明できる。 4. 各臨床検査の基準値を述べるができる。 5. 重要な検査の異常値の意味を説明できる。 [E-1-3] 事前学習：検査法の疑問点について「口腔内科学第1版」p.55-149を参照してレポート用紙半分程度に疑問点を箇条書きにしておくこと。疑問点は、随時、質問すること。質問を十分配慮しフィードバックしながら授業を展開する。
10月18日 (火)  4限	米澤 悠助教 (補綴・インプラント学)	<b>治療計画立案</b>  治療計画の立案方法を理解する。	1. 治療計画の立案を概説できる。 2. 患者情報からグループで治療計画を立案し発表する。また立案した内容をディスカッションする。 [E-3-4)-(2)-①~③、F-1-1)-③、F-3-4)-①、G-1-1)-①] 事前学習：DTP コースの内容を復習し歯科治療に必要な検査項目をまとめておく。
10月19日 (水)  1、2限	宮本郁也教授 (口腔外科学)	<b>顎関節に生じる疾患の診断・治療計画</b>  顎関節に生じる疾患(顎関節症、顎関節脱臼、下顎頭骨折、顎関節強直症など)の診断・治療計画を修得する。 (WebClass に授業の概要をアップロードする。)	1. 顎関節に生じる疾患を列挙できる。 2. 顎関節に生じる疾患の症状を説明できる。 3. 顎関節疾患に対する治療法を説明できる。 [E-2-4)-(7)-①②] 事前学習：顎関節疾患の疑問点について「口腔内科学第1版」p.536~561を参照してレポート用紙半分程度にまとめること。疑問点に十分配慮しフィードバックしながら授業を展開する。
10月19日 (水)  3、4限	佐藤和朗教授 (歯科矯正学)	<b>Angle I, II, III級症例の診断と治療</b>  不正咬合分類の診断と治療方法について説明できるようになる。	1. Angle I, II, III級の症状を説明できる。 2. Angle I, II, III級の原因を列挙できる。 3. Angle I, II, III級による障害を列挙できる。 4. Angle I, II, III級の治療方法を列挙できる。 [E-2-2)-④、E-4-1)-②] 事前学習：到達目標について、WebClass にアップしたファイルと医歯薬出版「歯科矯正学6版」を用いて自習して臨むこと。
10月20日 (木)  1、2、3、4限	野田 守教授 工藤義之准教授 浅野明子講師 ※志賀華絵講師 菅徹也助教 清水峻介助教 中村友宣助教  (う蝕治療学)	<b>実習②③ 歯科用セメント練和実習 模型作製</b>  臨床で使用する歯科用セメントの練和方法と取扱いができるようになる。  (矢巾実習室)	1. 適切な器具で歯科用セメントを練和できる。 2. 適切な稠度で歯科用セメントを練和できる。 3. 練和したセメントを窩洞に填塞できる。 4. 適切な粉液比で硬石膏を練和し、石膏模型を作製することができる。 [F-1-2)-①②③④] 事前学習：WebClass にアップした第2回実習書「模型作成」ファイルを学習、理解して実習に臨むこと。解剖学ですでに修得した歯の解剖学の知識を復習して臨むこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
10月21日 (金)  1、2、3、4限	佐藤俊郎講師 (予防歯科学)	自主学习 (出席確認無し)	

(\* : コースアンケート実施)

#### 最終試験

月 日	担当者		
10月24日 (月)  1、2、3限	佐藤俊郎講師 (予防歯科学)	DTP 最終筆記試験	10/3~10/19 講義内容に関する筆記試験
10月24日 (月)  4限	佐藤俊郎講師 (予防歯科学)	DTP 最終筆記試験	10/4~10/20 実習・演習内容に関する筆記試験

#### 教科書・参考書 (教 : 教科書 参 : 参考書 推 : 推薦図書)

	書 名	著者氏名	発行所	発行年
教	保存修復学 21 第6版	阿南壽ほか編	永末書店	2022年
教	歯内治療学 5版	中村洋ほか編著	医歯薬出版	2018年
教	エンドドンティクス 第6版	興地隆史ほか編著	永末書店	2022年
教	口腔保健・予防歯科学 第1版	安井利一ほか編	医歯薬出版	2020年
参	フッ化物応用の科学 第 2版	日本口腔衛生学会・フッ化物応 用委員会 編	口腔保健協会	2018年
参	口腔保健実践ガイドブッ ク 2版	荒川浩久ほか編	学建書院	2010年
参	口腔保健マニュアル 4版	安井利一編	南山堂	2005年
教	臨床歯周病学 3版	村上伸也ほか編	医歯薬出版	2020年
教	ザ・ペリオドントロジー 3版	和泉雄一ほか編	永末書店	2019年
参	標準歯周病学 4版	鴨井久一ほか編	医学書院	2005年
参	失敗しない歯周外科:キュ レッタージから再生療法 まで	小方頼昌、國松和司 著	クインテッセンス 出版	2007年
参	歯周病学用語集 3版	日本歯周病学会 編	医歯薬出版	2019年
推	コーエン審美再建歯周外 科カラーアトラス 原著 第3版	E. S. コーエン 編、鴨井久一 監 訳	西村書店	2009年
推	歯内療法失敗回避のため のポイント 47:なぜ痛が るのか、なぜ治らないのか	高橋慶壮 著	クインテッセンス 出版	2008年

	書名	著者氏名	発行所	発行年
教	口腔外科学 4版	白砂兼光、古郷幹彦 編	医歯薬出版	2020年
推	標準口腔外科学 4版	野間弘康、瀬戸皖一 編	医学書院	2015年
教	最新口腔外科学 第5版	榎本昭二ほか編	医歯薬出版	2017年
参	カラーアトラス サクシ クト口腔外科学 第4版	内山健志ほか編	学建書院	2019年
教	口腔内科学 第2版	山根源之 他編	永末書店	2020年
推	イラストでみる口腔外科 手術 第1-4巻	日本口腔外科学会 編	クインテッセンス 出版	2010年
推	口腔外科学 第5版	工藤逸郎 監修	学建書院	2016年
参	ハンディ口腔外科学 2版	新藤潤一 編	学建書院	2005年
教	歯科矯正学 6版	相馬邦道、山本照子ほか編	医歯薬出版	2019年
推	プロフィットの現代歯科矯 正学 新版	William R. Proffit 著、 高田健治 訳	クインテッセンス 出版	2004年
教	歯科放射線学 6版	岡野友宏 他 編	医歯薬出版	2018年
教	歯科臨床における画像診 断アトラス 第2版	日本歯科放射線学会 編	医歯薬出版	2020年
参	「Q&A」で学ぶ歯科放射 線学：SBO s 講義	金田隆 編	学建書院	2011年
教	小児の口腔科学 5版	朝田芳信ほか著	学建書院	2019年
参	小児歯科学 5版	白川哲夫ほか編	医歯薬出版	2017年

## 成績評価方法

講義（65点以上で合格）：コース最終筆記試験の総合点数で評価する。  
 実習（65点以上で合格）：実習態度（態度、知識、技能）評価、コース最終実習筆記試験の総合評価  
 講義と実習が、それぞれ合格した場合に合格とする。

### 備考

実習に対する知識（実習内容を理解することができる）、技術（実習内容に則した手技ができる）、積極性  
 （実習意欲があり積極的に行動することができる）、礼節（礼儀正しい話し方ができ責任ある行動ができる）  
 を平常点として評価対象とする。

## 特記事項・その他

DTPのユニットでは、随時プレゼンテーション、グループワーク、シミュレーション、相互評価の機会を設  
 け、伝える力の強化を図る。  
 講義資料は1日前までにWebClassにアップする。  
 インターネット上の教材（DESS問題、WebClass教材）を利用することがあるので学生は講義室でインター  
 ネットに接続可能なPC、タブレット等を準備しておくこと。  
 本コースでは、一般的な講義に加えて小グループでのローテーション実習を行う。実習において十分な成  
 果を達成できなかった場合は、個別にフィードバックの機会を設ける。  
 最終試験では実施直後に解説を行う。

授業に使用する機械・器具と使用目的

使用機器・器具等の名称・規格		台数	使用区分	使用目的
ノートブックパソコン・ProBook・一式	4520S/CT	1	視聴覚用機器	講義の資料提示用
ノートパソコン・レッツノート一式	CF-S9LWEJDS	1	基礎実習専用機器	実習の資料提示用
フラットヘッドスキャナ	GT-X970	1	視聴覚用機器	実習の資料提示用
カラーレーザープリンター	LBP5050N	1	基礎実習専用機器	実習配布資料作成用
ノートパソコン・VAIO一式	VPCS149FJ	1	基礎実習専用機器	実習資料提示用
iPad Wi-Fiモデル64GB	MC916J/A	1	視聴覚用機器	講義資料提示用
レーザービームプリンター	LBP7200C	1	基礎実習専用機器	実習配布資料作成用
レーザープリンター	LP-S7100	1	視聴覚用機器	講義配布資料作成用
カラーレーザープリンター・一式	LBP9200C	1	基礎実習・研究用機器	講義・実習資料の印刷
デスクトップパソコン一式	PC-MK33MLZE14SM 他	1	基礎実習・研究用機器	講義・実習資料の作成
ハンディフッソイオンメーター	Ti N5101	1	基礎実習専用機器	フッ化物イオン濃度測定実習で使用
ダイアグノデントペンディスプレイセット	202600200	2	基礎実習専用機器	う蝕リスク評価のための基礎実習で使用
デスクトップパソコンProDesk400一式	G4 SF/CT	1	基礎実習・研究用機器	講義・配布資料作成
ノートパソコンProBook430一式	G3/CT	1	基礎実習・研究用機器	授業のデモ、統計分析演習、研究データ解析
ノートパソコンDynabook一式	R73/B	1	基礎実習・研究用機器	授業のデモ、実習資料提示、研究データ解析
タブレット兼ノートパソコン一式	T6T57PA-ABLY	1	基礎実習・研究用機器	授業のデモ、統計分析演習、研究データ解析
デジタル一眼レフカメラ一式	EOS 8000D	1	臨床実習・診療用機器	演習用問題作成、臨床実習用および診察用機器
デスクトップパソコン	Endeavor MR4800E	1	基礎実習・研究用機器	講義・実習の資料作成
デスクトップパソコン	Endeavor AT994E	1	基礎実習・研究用機器	講義・実習の資料作成
デスクトップパソコン一式	MR4800E	1	基礎実習・研究用機器	講義・実習の資料作成
ノートパソコン Dell Latitude-9410	NBLA096-401N3	1	基礎実習・研究用機器	講義・実習の資料作成 講義・プレゼンテーション用
バイオ冷蔵庫	ALS-657HC	1	基礎実習・研究用機器	実験・実習試料及び試薬の保存